

年度/Academic Year	2023
授業科目名/Course Title (Japanese)	情報システム入門
教員名/Instructor (Japanese)	宮川裕之
講義概要/Course description	
<p>情報システムの目的の変遷を振り返る中で、ISアーキテクトが置かれる問題状況とロールモデル、そこで求められる専門領域について考える。</p> <p>情報システム開発における設計書の書式（書き方）には様々なものがあるが、情報システムをモデル化して捉えることで、設計書の書式や表現すべき内容を正しく整えることができる。</p>	
達成目標/Course objectives	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ISアーキテクトに求められる専門性の理解をとおして、学びの切り口の多様性を理解する ・ ISアーキテクトのマインドセットを身につけ、学びの持続性と応用力を醸成させる ・ 情報システムとは：ビジネス・システムとコンピュータ・システムの関係 	
授業計画/Lecture plan	
講義回	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ オリエンテーション ・ 情報システムの目的の変遷と求められる人材像
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループワーク & ディスカッション
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ デジタルトランスフォーメーションとISアーキテクトの役割
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループワーク & ディスカッション
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ システムとは、情報とは、データとは、情報システムとは ・ 情報システム構築の進め方
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケーススタディ - A大学の教育研究システムの導入のケース ・ 教育研究機関というところ
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報システムの目的の変遷と情報部門の役割 - 「つなぐ」機能 ・ 情報システムポリシーの組織的オーソライズ ・ ルーティンワークと創造的活動
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループワークの課題説明 ・ グループワーク & ディスカッション
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループワーク & ディスカッション

10	・ 成果の共有と振り返り
授業方法/Method of instruction	
講義とグループワーク&グループ相互のディスカッションのハイブリッド方式 理解を深め、定着させるための演習と相互共有	
成績評価方法/Evaluation	
授業への参加態度（30％）、受講レポート（40％）、演習成果（30％）	
参考書/Reference books	
情報システム学へのいざない-人間活動と情報技術の調和を求めて、浦昭二、細野公男、神沼靖子、宮川裕之、山口高平、石井信明、飯島正、培風館（1998）	